



快美な竹の音色が響く

手作りの竹楽器を演奏する「東京楽竹団」によるコンサートが、9月17日、文化会館で行われ、約500人の観客が快美な竹の音を楽しみました。竹でさまざまな響きを表現する団員4人のステージ。公演では、竹の楽器製作ワークショップの参加者20人が、竹で作った打楽器「マウイ」で楽竹団と共演しました。フィナーレでは、童謡「ふるさと」が幻想的に演奏され、観客が自然と歌い始めて会場が一体となり、会場は感動に包まれました。

自然美を探究した阿南人・日下八光

羽ノ浦町出身の日本画家・日下八光（1899～1996年）の画業を紹介する回顧展が県立近代美術館で開催されています。日下は、自然を描写した美しい風景画を多数描きました。また、模写の分野でも大きな功績を残しています。本展では、北の脇海岸を描いた日本画、装飾古墳の模写、精緻なスケッチなど154点の作品を紹介しています。会期は、11月4日(日)まで。



北の脇海岸でウミガメのふ化を確認

今季アカウミガメの産卵が確認されている北の脇海岸で、9月19日、子ガメの足跡を住民が発見。浜辺には約5cmの足跡が無数に波打ち際まで続いていました。日本ウミガメ協議会と日和佐うみがめ博物館カレッタに現場写真を送付し照会したところ、ウミガメの子どもの足跡と判断されました。今回ふ化したのは、8月20日に産卵を確認した卵107個とみられます。

地方創生の実現に向けて連携協力

本市は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「地方創生に関する連携協定」を締結しました。本協定は双方が有する事例データやノウハウを活用して、地方創生の実現を推進するもの。主に防災・減災対策や介護福祉分野などで連携協力します。9月26日に行われた調印式で、同社徳島支店長の金田純一さんは、「地域を盛り上げていけるよう努力したい」と話しました。



橘公民館に待望のエレベーター

橘公民館に設置を進めていたエレベーター（小規模建物用3人乗り、車いす対応）が完成しました。当館は大ホールが2階にあり、エレベーターが設置されたことから、高齢者や障がい者の方々をはじめ、利用者の利便性が高まります。10月7日の敬老会で利用した木本康夫さん（82歳）は、「上り下りが楽になり、公民館が使いやすくなりました」と喜んでいました。